

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	糖尿病患者における動脈硬化性疾患・腎疾患の進展率・死亡率に関する多施設共同研究－前向き研究実施計画書第三次コホート
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>期間：承認日～2040年12月31日</p> <p>【研究責任者】</p> <p>所属 新潟大学 医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科・教授 氏名 藤原 和哉</p>	
③概要	
<p>近年、血糖・血圧・脂質への治療薬の進化に伴い、糖尿病治療成績は改善されてきている。また、時代の推移に伴い生活スタイルも変化しており、喫煙率の減少などが報告されている。その一方で、若年肥満の増加、サルコペニア・フレイル合併の増加など新たな問題も浮かびあがってきている。そのため、新たな時代へ向けた新たな糖尿病治療戦略を考えていく上で、その時代における治療実態等を明らかにすることは極めて重要である。本研究の目的は、第一次コホート・第二次コホートと同じ組み入れ基準で異なる対象者からなる第三次コホートを設立し、第一次コホート・第二次コホートの成績と比較することで、糖尿病患者像、糖尿病の治療方法・治療成績、合併症・予後の時代変遷を明らかにし、新たな時代に向けた糖尿病治療戦略を構築していくことを目的とする。</p>	
④申請番号	C2022-0087
⑤研究の目的・意義	<p>近年、血糖・血圧・脂質への治療薬の進化に伴い、糖尿病治療成績は改善されてきている。また、時代の推移に伴い生活スタイルも変化しており、喫煙率の減少などが報告されている。その一方で、若年肥満の増加、サルコペニア・フレイル合併の増加など新たな問題も浮かびあがってきている。そのため、新たな時代へ向けた新たな糖尿病治療戦略を考えていく上で、その時代における治療実態等を明らかにすることは極めて重要である。本研究の目的は、第一次コホート・第二次コホートと同じ組み入れ基準で異なる対象者からなる第三次コホートを設立し、第一次コホート・第二次コホートの成績と比較することで、糖尿病患者像、糖尿病の治療方法・治療成績、合併症・予後の時代変遷を明らかにし、新たな時代に向けた糖尿病治療戦略を構築していくことを目的とする。</p>
⑥研究期間	倫理委員会承認後～2040年12月31日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される	<p>《対象》</p> <p>診療記録。アンケート調査。</p>

場合はその方法を含む。)	≪実施場所≫ 新潟大学 医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科 糖尿病データマネジメント研究会 匿名加工資料
㊸利用または提供する情報の項目	診療記録、検査所見、アンケート調査 糖尿病データマネジメント研究会
㊹利用の範囲	新潟大学 医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科
㊺試料・情報の管理について責任を有する者	1. 新潟大学 血液・内分泌・代謝内科 藤原 和哉 糖尿病データマネジメント研究会
㊻お問い合わせ先	新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科 藤原 和哉 電話 025-368-9026